

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	愛川高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	--------	------------------	---------

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することを目指した学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで地域密着型の連携型中高一貫教育校として、地域との連携・交流により主体的に進路を選択する能力や態度の育成を目指し、学校独自の仕組みの構築をとおして自ら学ぶ力、基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用するための思考力・判断力・表現力等の育成につながる普段の授業改善に取り組んできたが、今後はさらに、社会生活に必要な規範意識を身に付けるなど社会にかかわりよりよい人生を送るための力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

また、学校運営協議会を活用した地域との協働による学校運営の先導的なモデルづくりに取り組む。

2 学校教育目標

愛川高校3つのCの育成を目指す。

Confidence 「自信」自己肯定感を高め何事にも前向きに取り組む生徒を育てる。

Compliance 「遵守」社会に通用するルールやマナーを醸成する。

Communication 「対話」多様性を認め、誰とでも分け隔てなく交流できる生徒を育てる。

3 計画策定時点での課題

Confidence 「学力に課題のある生徒が多い」→学力に課題がある生徒に対し、確かな学力の育成を図るため、カリキュラムの工夫やICTの利活用を進め、授業改善を継続する。学習意欲がある生徒を支援し、教育相談の充実を図ることによって自己肯定感を高める。

Compliance 「生活指導案件の件数が多い」→予測困難な時代に社会人として「生きる力」を身に付けるため、常識やマナーを根気強く教えていくとともに、ルールを守る規律意識を醸成する。

Communication 「連携型中高一貫教育校・在県特別募集実施校」→在県特別募集入学生をはじめ、外国につながる生徒が非常に多い。多様性を認め合い、協働する教育活動を展開することが大切である。また中高連携活動のなかで地域や他校種の方とも交流し貢献している。これからも本校の特色を活かし、積極的な活動しながら誰とでも分け隔てなく対話できるコミュニケーション能力を育成していく。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	Confidence 自信 Communication 対話 ① 学び直しによる確かな学力の育成と定着を図る。 ② コミュニケーション力を育成するため教科横断的な探究型学習を追求する。	① 端末を活用し、個別最適な「学び直し」の実践をする。i-Unitによる中高で連携した学び直しの体制づくりをさらに進める。 ② ICTを活用し、多様なニーズに対応するための授業改善を継続。アウトプットを重視した生徒の主体的な学習を増やし、対話を通じた自己表現力を培う。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	Confidence 自信 Compliance 遵守 ① 社会人として通用するための規範意識を育成する。 ② 自己目標を達成することにより自分を肯定する力を身に付ける。 ③ 中学校との連携や交流から部活動や学校行事における生徒の主体的な活動の支援を図る。	① 生活指導を徹底し、基本的な生活習慣を確立させる。 ② 生徒の抱える課題に対し、チームとして教育相談に取り組む体制づくりをさらに進めていく。 ③ 地域部活動の在り方を模索し、連携活動や行事などを通して達成感の醸成を図る。
3	進路指導・支援	Confidence 自信 Communication 対話 ① 社会人基礎力をつけ、コミュニケーション力をベースとした人間力を培う。 ② 就職、進学や外国につながる生徒の多様な進路に対応できるカリキュラムの追求を継続する。	① 予測困難な時代に対応できる対話力を育成し、社会人としての常識やマナーを身に付け、キャリア教育の充実を図る。 ② 明日楓会を中心とした地元企業やボランティアとの結びつきを強め、インターシップを活用し、ミスマッチのない進路支援につなげる。また大学進学を見据えた進路指導やICTを活用した受験指導に取り組む。

4	地域等との協働	<p>Compliance 遵守 Communication 対話</p> <p>① 学校運営協議会と意見交換をしながら地域に貢献できる人材の育成を図る。また地域学校協働本部（明日楓会）と連携し、実践的な就業体験の実施など生徒のニーズに対応する。</p> <p>② 連携型中高一貫校として、愛川町の教育力を高め、地域発展につなげる。多様性を認め、他者を敬う姿勢を構築する。</p>	<p>① 愛川町唯一の県立高校として地域の教育力を活かし、有識者の意見を参考に、地域に開かれた教育活動を進めていく。</p> <p>② 連携活動の発展により連携型中高一貫校として特色のある事業を拡充していく。地域連携サークル各部門の活動で生徒の主体性を引き出すサポートを行う。</p> <p>③ 外国につながるの生徒について、地域と共同し、学校の枠を超えた支援を行い、国際色豊かな地域に貢献する。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>Compliance 遵守 Communication 対話</p> <p>① 心理的安全性の確保と風通しの良い職場づくりにより事故不祥事を防止し、働き方改革を推進する。</p> <p>② 防災意識を高め、地域全体で子どもを守る体制作りに取り組み、安全で安心な学校環境を維持する。</p>	<p>① 育児に携わる世代が多い職場なので、協働的な働き方ができるようにICTなどを利用し校務の合理化を進める。</p> <p>② 事故不祥事により県民の信頼を損ねることがないように風通しの良い職場づくりを進めていく。</p> <p>③ 避難所の運営や、河川の危険個所の認識、交通安全に取り組み、外部機関と連携しながら学校の安全体制を確保する。</p>